



PROGRAM & CONTENTS			
会場：関西学院高等部			
9:00-9:45	受付開始	1 開会式・開校式	1 開会式・開校式
10:00-10:15	開会式	2 開校式・開校式	2 開校式・開校式
開 会 式	関西学院高等部 3年生 校長 室司	開 校 式	関西学院高等部 校長 松田 隆
開 会 式	関西学院高等部 校長 松田 隆	開 校 式	関西学院高等部 3年生 校長 室司
本日の集いの流れ	関西学院高等部 3年生 校長 室司		
9:00-15:00	Classによるノベルティ・使用ブース	1 開会式・開校式	
10:30-12:30	<コンテスト部門>プレゼンテーション	2 開	
発 表 数	25チーム(5チーム×5会場)		
発 表 時 間	発表12分+質疑5分+入場1分(合計25分)		
	① 10:30-10:50	② 11:45-12:05	
	③ 10:55-11:15	④ 12:10-12:30	
	⑤ 11:20-11:40		
10:35-12:30	<オープン部門>ポスターセッション	3 開	
発 表 数	40チーム(5チーム×8会場)		
発 表 時 間	発表10分+質疑7分+入場1分(合計25分)		
	A 10:35-10:52	D 11:44-12:01	
	B 10:53-11:10	E 12:02-12:19	
	C 11:21-11:38		
12:30-13:00	昼休憩	地下1 開校式	
13:00-14:30	中・高生交流会	3 開校式	
13:00-14:10	教員向け交流会<パネルディスカッション>		
14:10-14:30	中・高生交流会の発表	3 開校式	
	(14:10-14:30) 両会場から大会場のホールへ、14:30-14:50までにて移動 (中・高生交流会の発表は14:30)		
15:00-16:00	表彰式・閉会式	中央講堂	
開 会 式	関西学院高等部 3年生 校長 室司、室司 隆生		
表 彰 式	表彰委員長代表 井ノ上 重司 (大阪大学)		
主 持 人	コンテスト部門審査員		
開 会 式	関西学院大学 学長 森 康雄		
集 会 式			

中・高生探究の集い2024 開催スケジュール			
関西学院高等部			
1 開校式	開校式：15 表・中・高生交流会 閉校式：16 表・中・高生交流会	コンテスト部門 2 開	オープン部門 3 開
9:00	受付	9:00-9:45 (45分)	9:00-10:00
9:45			
10:00			
10:15			
10:30			
10:35			
10:50			
11:05			
11:20			
11:35			
11:50			
12:05			
12:20			
12:35			
12:50			
13:05			
13:20			
13:35			
13:50			
14:05			
14:20			
14:35			
14:50			
15:05			
15:20			
15:35			
15:50			
16:05			



小学校で国語を効果的に学ぶには？ ～説明的な文章の構成を通じて～

リサーチクエスチョン

徳島県立城ノ内
中等教育学校

● ●

説明文の構成を、矢印や図形を用いた
図案で表すにはどうすればよい？

「説明文の教育に実際に込められた
工夫」という観点から、探究を行う

研究動機

私はよく、説明文が、物語文に比べて記憶に残りづらい傾向にあると感じてきた。
国語の授業では、矢印や枠を使い、文章の構成を視覚的に分かりやすくしてノートをとめる。そこで、「ノートのまとめ方」についての探究を通じて、より小学生に説明文に興味を持ってほしいと思い、このテーマを設定した。

研究方法

- ①研究の対象にする教科書を決定する
- ②収録されている説明文の内容について、変遷を調べる
- ③それぞれの説明文の構成を調べ、構成の種類ごとに分類する

①研究する教科書の決定

現在、国語の教科書を出版しているのは

・光村図書 ・東京書籍 ・教育出版

集計の結果、890の自治体のうち、
680自治体が光村図書を採用している
ことが分かった



最もシェア率が高い **光村図書** に決定

②説明文の内容を調べる

<単元の目標>

調査した教科書が使われた10年間で

「自分の考えをまとめる/書く/発表する」→「自分の考えを書く/述べ合う/伝え合う」
という表現に変わった

⇒学習指導要領で「主体的・対話的で深い学び」（を行う）と明記されたことがきっかけと
考えられる

<教材のテーマ> （日本十進分類法を基に判断）

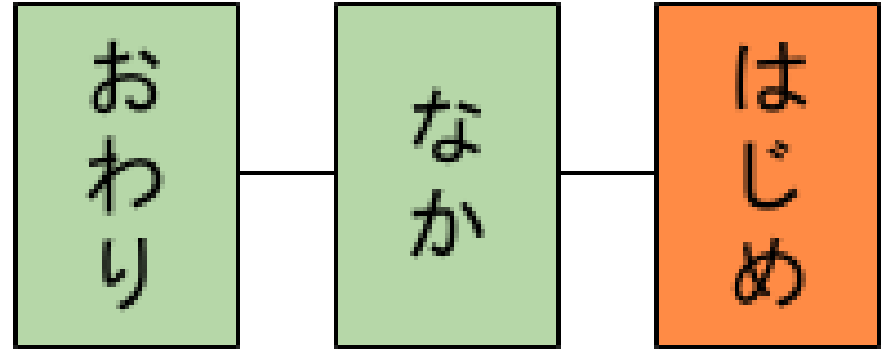
教材数が最も多いテーマ	
1, 2年生	動植物・自然（自然科学・医学）
3, 4年生	芸術・運動（芸術・体育）
5, 6年生	心理（哲学・心理学・宗教）

身近なことがテーマの教材
(例 2年生「たんぽぽのちえ」)



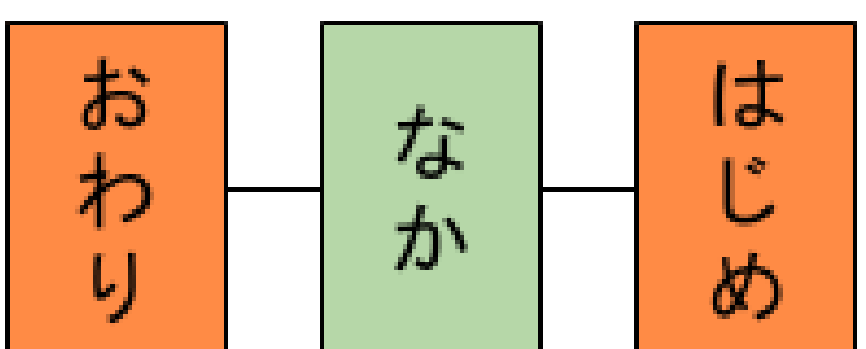
心や人間関係など、抽象的なことがテーマの教材
(例 6年生「時計の時間と心の時間」)

③説明文の構成を調べる



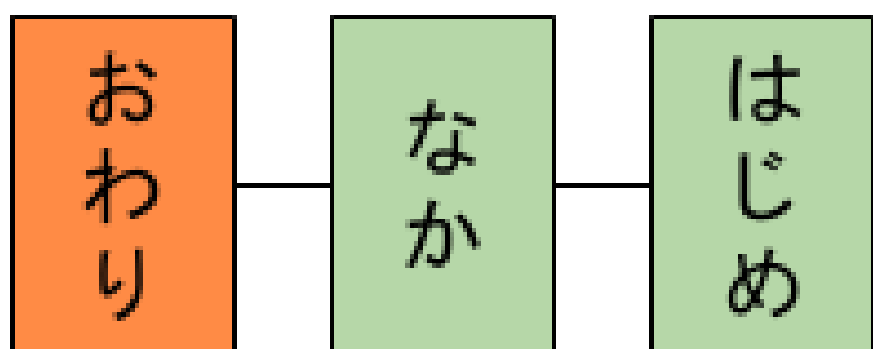
頭括型

主張が**はじめ**にある
1年生の教材は
全てこの構成
他学年には
見られない



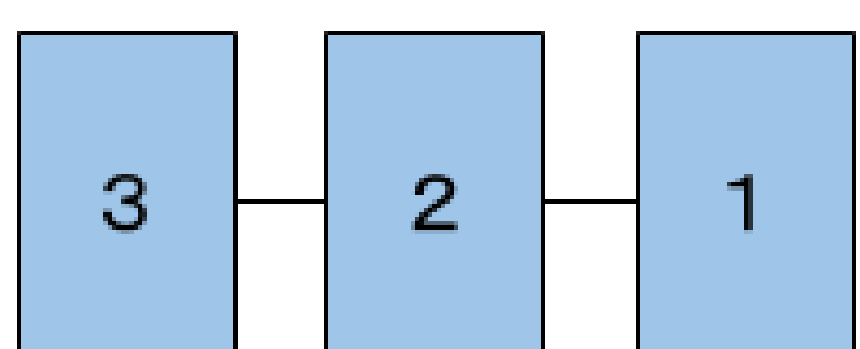
双括型

主張が**はじめ**と
おわりの2か所に
ある
学年が上がるに
つれて多くなる



尾括型

主張が**おわり**にある
3年生に多い
構成だったが
近年は6年生
にも見られる



時系列型

説明が
時間の流れや
事柄の順序に
沿って並ぶ
2年生に多い

これからの取り組み

集めたデータから、低学年では物事の順序を意識すること、高学年では筆者の主張を理解することが教材の中心になる傾向があるとわかった。
これらを基に、説明文の構成が一目で分かるようにするための図案を作成する。その際には、事柄の順序が分かりやすいこと、筆者の主張が述べられている部分がどこであるかをすぐに理解できることを目標にしていきたい。

参考文献

- ・日本教材出版 2024年度 教科書採択表 （最終閲覧年月日 2024年8月17日）
- ・文部科学省 小学校学習指導要領解説 国語編 （最終閲覧年月日2024年10月23日）
- ・日本標準 【青木先生の国語授業講座】説明文の4つの型 （最終閲覧年月日2024年10月23日）
- ・朝日新聞EduA 主体的な学びってそもそも何？評価方法は？ 歴史から振り返る意味 （最終閲覧年月日2024年10月24日）